

平成28年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	播種期は平年より2日早い5月26日であった。5月下旬は降水量が少なく、出芽期はやや遅れた。6月中旬の低温寡照のため初期生育は緩慢で、草丈は平年並であったが、葉数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	やや不良	6月下旬以降も低温傾向が続いたことから生育は停滞し、金時類の開花始は平年より3~4日遅かった。草丈、葉数、分枝数は手亡類、金時類ともに平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	やや不良	7月下旬も引き続き低温寡照傾向のため、開花始は平年より3~5日遅れた。8月以降は高温に経過したが、依然として草丈および葉数は平年を下回っている。分枝数は手亡類は平年並、金時類は平年をやや下回っている。着莢数は平年より手亡類はやや多く、金時類はやや少ない。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	不良	8月下旬から9月上旬にかけてやや高温に経過し、最低気温も高く推移したため、成熟期はほぼ平年並となった。着莢数および一莢内粒数はほぼ平年並だったが、百粒重が平年より軽く、子実重は平年を下回った。 台風により8月中旬から倒伏が多く発生した上、8月中旬から9月上旬まで降雨が平年より著しく多かったことから、特に金時類では色流れ粒や腐敗粒、発芽粒が多く生じ、屑粒率は著しく高かった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	播種は平年より2日早く、出芽期は平年より1日遅かった。6月中旬から7月下旬まで低温寡照傾向のため生育は遅延し、開花始は平年より3~5日遅れた。8月上旬からは高温で推移したため、成熟期はほぼ平年並となった。 手亡類は着莢数は平年並だったが、百粒重が平年より軽く、子実重は平年比84%と低収であった。金時類では、一莢内粒数は平年並からやや上回ったものの、着莢数と百粒重は平年を下回り、子実重は平年比80%と低収であった。 台風により8月中旬から倒伏が多く発生した上、金時類の登熟後期である8月中旬から9月上旬まで降雨が平年より著しく多かった。そのため、金時類では色流れ粒や腐敗粒、発芽粒が多く生じ、屑粒率は著しく高く、検査等級は平年を下回った。手亡類については9月中旬の降雨が少なかったことから屑粒率が低く、検査等級は平年を上回った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	
出芽期(月日)	6.9	6.8	1	6.10	6.9	1	6.11	6.10	1	
開花始(月日)	7.25	7.20	5	7.14	7.11	3	7.15	7.11	4	
成熟期(月日)	9.15	9.14	1	9.1	9.1	0	9.4	9.6	△ 2	
草丈 (cm)	6月20日	7.7	6.8	0.9	9.4	10.4	△ 1.0	9.3	9.8	△ 0.5
	7月20日	39.1	54.3	△ 15.2	35.8	52.5	△ 16.7	35.3	53.3	△ 18.0
	8月20日	60.8	66.7	△ 5.9	42.6	56.4	△ 13.8	47.1	61.2	△ 14.1
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	52.7	64.9	△ 12.2	46.8	55.1	△ 8.3	48.4	58.6	△ 10.2
葉数 (枚)	6月20日	0.2	1.1	△ 0.9	0.2	0.9	△ 0.7	0.3	1.1	△ 0.8
	7月20日	5.5	6.8	△ 1.3	3.1	3.7	△ 0.6	3.4	3.9	△ 0.5
	8月20日	6.5	6.9	△ 0.4	3.3	3.8	△ 0.5	3.6	3.9	△ 0.3
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主莖節数(節)	成熟期	8.0	8.7	△ 0.7	5.1	5.7	△ 0.6	5.3	5.8	△ 0.5
分枝数 (本/株)	7月20日	7.1	9.2	△ 2.1	4.9	7.9	△ 3.0	4.1	7.7	△ 3.6
	8月20日	9.5	8.9	0.6	5.5	6.4	△ 0.9	5.4	5.7	△ 0.3
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	7.4	8.1	△ 0.7	4.2	6.0	△ 1.8	4.8	5.2	△ 0.4
着莢数 (莢/株)	8月20日	38.7	35.8	2.9	16.1	17.5	△ 1.4	15.4	17.1	△ 1.7
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	32.3	31.1	1.2	15.7	16.7	△ 1.0	15.3	15.5	△ 0.2
一莢内粒数(粒)	4.25	4.48	△ 0.23	2.99	2.96	0.03	2.82	2.66	0.16	
総重(kg/10a)	537	653	△ 116	411	557	△ 146	430	562	△ 132	
子実重(kg/10a)	304	360	△ 56	224	280	△ 56	222	276	△ 54	
百粒重(g)	29.3	32.6	△ 3.3	62.9	70.2	△ 7.3	75.1	83.4	△ 8.3	
屑粒率(%)	9.4	17.9	△ 8.5	82.2	15.3	66.9	46.8	21.4	25.4	
品質(検査等級)	1等	3下		等外	3上		等外	3中		
子実重対平年比(%)	84	100	△ 16	80	100	△ 20	80	100	△ 20	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成23年(豊作年)及び27年(凶作年)を除く5か年平均である。
 ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。
 4) 品質(検査等級)は、旧農産物規格規定(普通いんげんの規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	春まき小麦	60	20	2	8,333	5.26
施肥量(kg/10a)							
N	P2O5	K2O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		